

## 水処理施設工事に用いた MM ホール施工報告書

広島営業所 鈴木健一

3.11 震災は業種、業界でいろいろな分野に問題を提起したと思いますが、医療の現場、特に透析を日常的に受けている患者さん方は生命を脅かす状況に陥ったようです。それで将来的な災害に対し安定した医療体制を構築するのが今回工事の趣旨です。

### ● 工事概要

発注者 : 医療法人 したのはらクリニック  
請負業者 : (株) ナガオカ  
工事名 : したのはらクリニックケミレス他水処理施設新設工事  
施工場所 : 山口県下松市  
納入規模 : MM 3号 (圧入深7.67m) 1基  
施工期間 : H24、4、29～5、2 (一部GW前半)

### ● 経緯

今年2月頃 大阪本社のナガオカ社よりMMで検討したいという案件を頂きました。40m<sup>2</sup>の駐車場に浄化システムと9、9m<sup>3</sup>の貯水槽を構築したいとの構想です。透析患者は1日約20ℓの医療用水を必要とされ、80名の患者が2日間で要する水が9600リットルにも達する量になるとの事であります。

NHK の番組でナガオカ社の社業を紹介する番組を篠原院長がたまたま観ていて三村社長 (最近TVによく出演している) の経営方針に感銘を受けた院長が震災対策として見積を依頼したそうです。尚且つ施工条件は病院が休日時の施工で、緊急時、また送迎車の車両用スペースも確保しての施工依頼と厳しい内容です。

北九州市のアート機を所有の木下組 平山専務と現場に同行し下見をしました。架空線、NTT線も病院前の私道を交差し25トンラフター設置も難しい状況でした。平山専務的確な配置が興を奏し、また木下組持参の自走式のアート機が現場でその機能を発揮し、MM材料の吊卸のみを10トンクレーンで行いました。完全防水タイプの仕様でしたので工場でもって樹脂塗布を行い、またバケツで傷がつかないように内面をプラスチック板で保護しました。

GW前半後の5/1 5/2の平日は患者通院の優先のため午前中は工事中止、午後からの施工と限定され水中コンクリート打設と翌日のレイタンス処理は時間との争いでした。都合5日間で施工を完了しました。このケミカルレス地下水処理装置 (ケミレス) とセットで地下貯留槽のMMホールを短期間で構築できたシステムを篠原院長が全国の学会で発表す

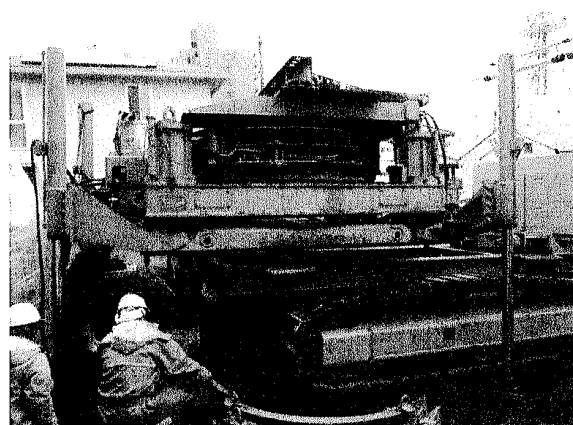
るとのことでナガオカ社と協同でレジュメも作成されました。全国の病院関係で興味を持ち賛同する医療従事者の方も多数出てくる可能性もあります。また工事中も患者さんが多数ひんぱんに通院されている姿をみていますと改めて健康の概念を再認識した次第です。

(3日に一度透析通院 費用は一回1万円程度とのこと)

『追伸』営業の方は今までにない新たな訪問先が生まれたようにも思いますのでMMホールの拡販先として病院も候補先として考えてもいいと思います。学会発表用の資料もありますのでお問い合わせ頂ければお送りします。



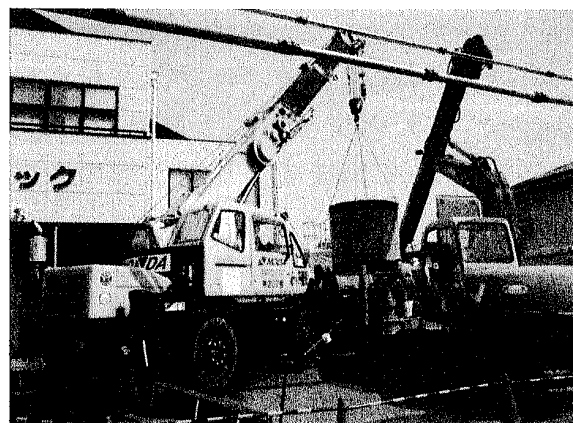
アート機搬入状況



アート機設置状況



施工状況①



施工状況②